



第 166 号 令和 2 年 9 月 1 日

伊豆歩倶楽部会報

♪伊豆歩の歌♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）
緩歩で観歩
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）
歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は
歓歩で完歩

9 月例会 三島市内と近郊の湧水群を訪ねるは**中止**とします。

中止した「三島市内と近郊の湧水群を訪ねる」は、10月に予定している「初秋の高尾山ウオーキング」を変更して実施します。

■第 216 回 伊豆歩倶楽部 10 月例会

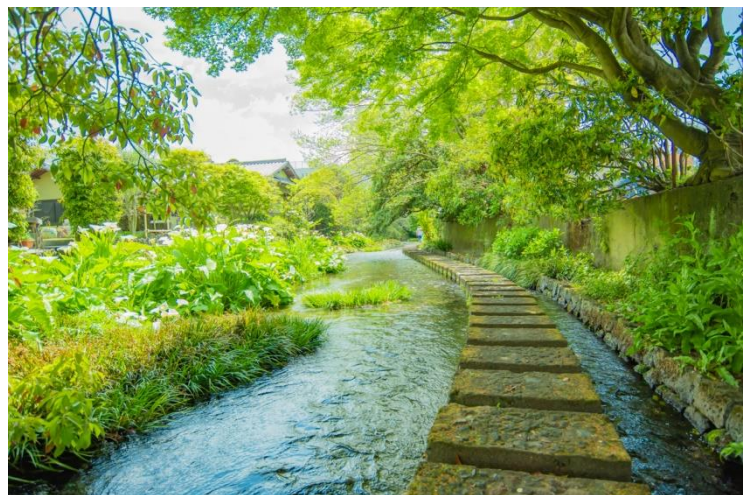
三島市内と近郊の湧水群を訪ねる

6km 10km

今回のコースは三島市内と近郊の富士山からの伏流水が湧き出すスポットを巡るコースです。

最初の楽寿園は、元は小松宮彰仁親王の別邸として造営されたが昭和 27 年以降は三島市立公園として管理されている。今年は園内の小浜池の水位が長雨などにより 217 cm と 59 年ぶりに記録が更新されたと話題になっていました。

源兵衛川は、清流の中に飛び石や木製の遊歩道が整備され、川のせせらぎを聞きながら、ゆっくり湧水を楽しむことができます。柿田川公園の柿田川湧水群は、環境省の選ぶ名水 100 選の中でも日本を代表するひとつとされ、天然記念物にも指定されている。



次は「三島梅花藻の里」へ向う。ミシマバイカモは楽寿園の小浜池で発見され、梅の花の形に似ているとのことからこの名前が付けられ、水の汚染に非常に敏感で、きれいな冷たい水でしか育たないので、ここで保護育成されている。

最後の三嶋大社は、源頼朝が源氏再興を祈願し旗挙げした神社として有名で総けやき権現造りの豪壮な建物が見所。秋には樹齢 1200 年以上の金木犀の芳香が楽しめます。参拝をすましたらゴー

ルの三島駅南口へ向かいます。

- 【開催日】 令和2年10月18日(日)
- 【集合場所】 JR三島駅南口
- 【集合時間】 10時00分 出発式 10時10分 (楽寿園内)
- 【交通機関】 伊豆急下田駅7時43分発 熱海駅9時19分着
熱海駅9時37分発 三島駅9時51分着
- 【参加費】 会員 無料 一般参加者 500円(マップ、保険代) 楽寿園入園料 300円
- 【コース】 三島駅南口→楽寿園→源兵衛川→三島広小路駅→三石神社(6キロコースは三石神社から三島梅花藻の里へショートカット)→丸池→柿田川公園→三島梅花藻の里→三嶋大社→白滝公園→三島駅南口(ゴール)
- 【問合せ】 伊豆歩倶楽部事務局 (笹本)
TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717
- 【その他】 感染予防のためマスク着用と熱中症対策も併せてお願いします。

相次ぐ降雨災害に思う

伊豆歩倶楽部会員 N0606 徳田尚志

日本列島は、毎年豪雨による浸水災害、土砂崩壊、道路鉄道インフラ施設等の流出に見舞われている。今年にも熊本、大分、岐阜、山形などの各県に、梅雨の間に停滞した前線による豪雨災害がもたらされた。そのたびに、被災された方々から「ここに住んで50年経つがこんなことは初めてだ。」とか「生まれてからずっとここにいるがこんなことはじめてだ。」という言葉が出る。

日本列島らしきものが形成されてから数百万年経つがを、その間冬の降雪、春の梅雨、夏秋の台風と多くの降水にさらされてきた。加えてプレートのせめぎあい、活発な火山活動により作り上げられた我々が国土は、急峻な河川による排水構造となった。時折のこの排水構造の容量を超えた豪雨に見舞



われると河口付近、平野部への入り口、支流との合流部などで氾濫を起し、沖積平野、扇状地、山間の平地をつくり、現在の国土が形成された。

我々が祖先が稲作を始めてから2,500年程であろうか。それまで狩猟採集により食料を調達してきたので定住する必要の無かった生活形態が一変し、稲作に適した水に恵まれた平地に定住するようになった。そして定住したところは、河川の氾濫、土石流、土砂崩壊等で形成された沖積平野、扇状地、山間の平地であった。言ってみれば、氾濫の後に、水害の起こりやすいところに集落を作り住むようになったのである。さらに文明の進むに従い集落間の交流のため道路、鉄道などのインフラが自然を切り盛りして設けられた。近年には自然にあった土地の近くの山や谷を切り盛りして利用するようにもなった。我々の生活圏は氾濫により形成された平地と人為的に自然に対抗して作られた土地なのである。

人間の一生はせいぜい100年、数百万年渡り繰り返されてきた水害は、その地においては100年ぶりかも、1000年ぶりかもしれぬのである。そこで被害にあった土地では、「ここに住んで50年経つがこんなことは始めてだ。」とか「生まれてからずっとここにいるがこんなことははじめてだ。」ということになる。

この間にも堰や堤防といった治水対策がなされてきたが、これとても自分たちが経験したか伝えられた規模の降水被害に対応する対策であった。近年においては、時間雨量50ミリとか75ミリを想定してダムや堤防が作られたが、これとても絶対的なものではないのである。加えて地球温暖化による異常気象により降水量の増加も予想される。



かくして日本は毎年どこかで洪水が発せし、災害は続くのである。

伊豆歩俳壇

焼けつきし路面に蚯蚓の行倒れ

徳田尚志

曲げわっぱ昨夜残りし衣被ぎ

徳田尚志

エアコンの窓越しに見る遠花火

徳田尚志

七十五戦後の猛夏三の窓

清水政悦

人生もここらあたりが猫じゃらし

清水政悦



ホームページアドレス <http://www.izuhorclub.com>

・メールアドレス info@izuhorclub.com

・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・
皆様のご参加をお待ちしています。

※会報への投稿は、毎月20日までをお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。

・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝治

〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL:0558-42-0864

携 帯:090-7675-8682

・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301

『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 祝長

TEL & FAX 0558-22-5465

■令和2年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！仲間と歩くと心も軽く笑顔もあふれます。

多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて
手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。

詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

《令和2年4月1日～令和3年3月31日》

【会費】 継続会員 3,000円/年 家族会員 1,500円/年

新規会員 4,000円（入会金 1,000円 年会費 3,000円/年）

日本ウォーキング協会 正会員 10,000円/年 維持会員 2,000円/年

【納入方法】 郵便振替用紙にて『記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。

※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。

